

澤木四方吉 （あほう） 美術史學者。明治十九年十一月十八日秋田縣生れ、  
昭和五年十一月七日歿（八六—九三）。筆名うしほ、澤木楠、澤木潮  
鳴、潮鳴、若樹木郎、し・し生。明治四十一年慶應義塾大學卒。歐洲  
留學後同大教授。

編著書、故小幡百吉氏遺稿・詩集『濁流のうた』（編、明治四十四年  
五月五日山下吉二郎刊）、『美術の都』（澤木楠名、大正六年十一月  
十日日本美術學院）、『レオナルド・ダ・ヴィンチとその前半生』（大  
正十四年七月十九日東京朋書店）、『西洋美術史研究』全二冊（上卷  
『ギリシア』、昭和七年五月二十五日、下卷『ルネサンス』、六年十月五  
日岩波書店）、『西洋美術史論攷』（昭和十七年十一月二十一日慶應  
出版社）、『美術の都』（昭和二十九年一月二十日岩波書店）等。